

農作物の生育概況等について

1 気象経過

9月は平均気温が平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり多く、日照時間は平年より少なく経過した。特に9月20日から22日にかけて広い範囲で大雨となり、日降水量が100ミリを超える地点があった。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 県全体の刈取始期は9月13日頃（平年比－5日）、盛期は9月27日頃（平年比－2日）となっている。

(2) 大 豆

- ・ 7月上旬からの断続的な降雨の影響で、生育量が不足した圃場が散見される。収穫は、平年並の10月中旬以降と見込まれる。

(3) 果 樹

- ・ 西洋なし「ラ・フランス」は、10月6日頃（前年比－6日）から収穫が始まっており、大玉傾向で前年を上回る収穫量が見込まれる。販売開始基準日は10月21日（前年比－6日）に設定された。
- ・ りんごは、「秋陽」などの中生種が収穫期となっており、果実肥大は良好である。

(4) 野 菜

- ・ トマトのハウス夏秋栽培は、現在、収穫後半に入っており、出荷量は例年に比べてやや少ない。
- ・ 露地ねぎは収穫盛期となっている。7月の大雨の影響で、最上地域を中心に出荷量が減少したものの、9月以降は回復傾向となっている。

(5) 花 き

- ・ 花壇苗のパンジー・ビオラの出荷が9月中旬から始まっており、10月に入って本格化している。
- ・ ストックは例年並みの9月下旬に発蕾し、10月上旬から出荷が始まっている。

3 当面の主な技術対策及び農作業安全対策

〈水 稲〉丁寧な乾燥・調製を徹底する。

〈大 豆〉適期収穫と丁寧な乾燥・調製を徹底する。

〈果 樹〉西洋なし「ラ・フランス」及びりんご中生種の適期内収穫と選果を徹底する。
また、りんご「ふじ」の適正な着色管理を徹底する。

〈野 菜〉施設果菜類の適切な温湿度管理、ねぎ等の適期収穫を徹底する。

〈花 き〉施設花きは、各品目の特性と気象状況に応じた温度管理を徹底する。

〈農作業安全〉農作業事故防止のための基本的な対策を実施する。